

深耶馬溪の 昆虫



岩場に生えるツメレンゲ(クロツバメシジミの食餌植物)



クロツバメシジミ

岩角地に生息するクロツバメシジミや溪流に生息するトンボ類は深耶馬溪地域の最も特徴的な種といえます。



ムカシヤンマ



ミヤマサナエ

トンボ類の写真は、
いずれの種も上がめ
ず(♀)下がおす(♂)



オジロサナエ



深耶馬溪は標高600m未満であり、森林帯としては常緑広葉樹林帯に含まれ、生息する昆虫類も低標高の常緑広葉樹林帯に生息するものが主体をなしています。昆虫相としては決して豊かとはいえませんが、中には、カラカネハナカミキリ、シラホシヒメゾウムシ等のように、普通、高標高の落葉広葉樹林帯に生息の多い昆虫も見られます。また、ガ類ではオキナワリチラシ、ヤクシマドクガ、ツクシカラスヨトウなど南方系昆虫の生息も知られています。

一般に昆虫の生息は、食餌植物の有無の外には自然条件によって左右されます。深耶馬溪の自然は、単に標高や森林帯だけでなく、樹種や環境の多様性及び森林の規模や樹木の年齢など、いわゆる森林の豊かさ、充実度が深く関係していることを教えてくれます。



カラカネハナカミキリ



シロモントゲトゲゾウムシ



シラホシヒメゾウムシ



ヒゲナガサシガメ



オオヒゲナガガガンボ



メスグロヒヨウモン



ヒメカマキリモドキ



オオツノトンボ



キンモンガ



アオハナムグリ



フタスジゴマフカミキリ